

農地・水・環境保全向上対策の取組み時の問題点と工夫点

－モデル支援事業地区の活動報告による検討－

Problems and Countermeasures on Rural Improvement Model Activities

－Case Considerations on Model Activity's Reports－

○松尾芳雄¹, 森口千洋¹ Matsuo Yoshio¹, Moriguchi Chihiro¹

概要 平成18年度にモデル的に開始された全国568地区の農地・水・環境保全向上対策の活動が公表されている。活動報告より、活動の組織や計画づくりでの苦労点や工夫点を整理し、共通的な問題を抽出した。工夫内容は問題点の解決策ともなることから、問題点と工夫点を関連づけを試行し、問題事項に関連づけられた工夫点を解決方策とする改善方向としてとりまとめ、取組み時の計画づくりにおける視点から位置づけた。

はじめに 農地・水・環境保全向上対策は、平成18年度に568地区(499市町村)でモデル的に取組が開始され、19年度から本格的に実施されている。活動組織数は18,978団体、対象農地は136.2万haに至る(H20.11.15日現在)。同対策の実施期間は平成23年度までの5年間で、その支援内容(交付金)は共同活動支援、営農活動支援、農地・水・環境保全向上活動推進の3種ある。支援対象組織は、①環境に優しい営農活動と②農地・水・環境を守り育てる共同活動に2分される。営農活動とは地域全体の農業者により、環境負荷低減に向けた活動を行った上で、地域でまとまって化学肥料や化学合成農薬等を5割以上低減する等の活動を指す。本報はモデル地区における②の共同活動での取組を対象とする。

検討対象 モデル地区の公開資料(活動報告)¹⁾は、活動組織別に報告書の形でまとめられ、地域の概要、活動組織、協定対象となる資源の範囲、活動計画、活動の実践、情報の発信、支援交付金の使途等の項目からなる。活動の組織や計画づくりでの問題点を明確化させるため、モデル地区における活動報告から、①活動によって地域が目指す方向、②活動計画づくりでの苦労点や工夫内容、③活動実践における苦労点や工夫内容、④組織づくりの気運の醸成、⑤参加者の募集や規約づくりでの苦労点や工夫内容の項目から苦労点(以下、問題点)や工夫内容に関し、各地方別に上位3項目を抜き出し、全国/地方別の指摘状況を整理した(図-1)。

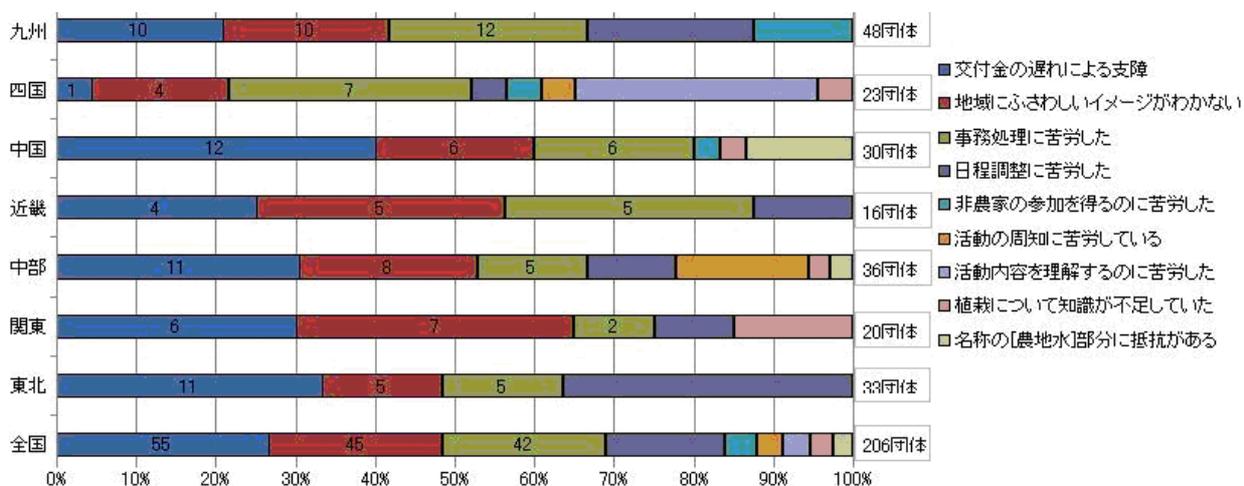


図-1 全国/地方別の主要な問題点

¹ 愛媛大学農学部 Fac.of Agr., Ehime Univ.

キーワード：農村環境保全、共同活動、環境保全型営農活動、地域資源

問題点と工夫内容 図-1から主な問題(あるいはその所在)として、①活動のイメージ面、②日程調整面、③非農家参加面、④誘導部分の活動設定面、⑤活動計画の決定面、⑥活動周知面、⑦技術やデータの不足が摘出される。ある地方での問題事項に関し、他の地方の工夫内容にその解決方向が示される場合があり、その観点から問題点と工夫内容を結びつけ(図-2)、その解決方策を以下のように整理した。

- ①：集落点検、アンケート等の実施が工夫内容にある(九州)。点検上の注意点等を記したマニュアルの整備が望まれる。住民意向調査により非農家の望む活動が把握できる。
- ②：農家と非農家で生活行動が異なり、日程調整は難しい。「班単位での活動」(東北)や、「農家と非農家の役割分担」(中部等)などの視点がある。
- ③：話合等により活動の重要性への非農家の理解を求める他、農家と非農家の共用道路等での活動を優先する(関東)など、非農家の利点を明確化する。

④：「活動内容に遊びを取入れ、参加し易くした」(近畿)、「全員で参加できる活動内容を考えた」(近畿)等、参加し易い活動を行う。また、「地域で取り組む灯籠流しに関連させて活動を設定」(四国)、「希少種を指標種に設定し環境保護に努める」(四国)等、活動の中心(テーマやシンボル)設定で、誘導部分の活動もイメージし易く具体的な取組設定も容易となる。

⑤：「農地を利用した景観形成」や「繁茂期の頻繁な作業」など個別的な対応が必要となる。

なお、④、⑤の活動における取り組み方(活動の取り組み方)として、技術を要しない活動や危険の無い活動を行うなど、取組の容易な活動から始める。

⑥：看板の設置(全国)や「イベントに関連付けた広報活動」(四国)で地域住民や参加者に活動を印象付け、周知を図る。

⑦：活動組織内での解決に限界があり、「専門家や研究機関などに協力を求める」(全国)ことも検討し、必要な知識の習得、データ等の収集を進める。助言体制整備が望まれる。

「事務処理に苦労」や「交付金の遅れによる活動支障」も全国的問題として挙げられる(両項目に関する工夫内容は見られない)。事務処理面の計画書や報告書作成では、具体的記入例の提示等が望まれる。交付金の遅れは活動組織内での改善範囲にないが、交付金支給までのつなぎ資金が必要になる。

おわりに 図-2は、問題点と工夫内容を関連づけ、本対策活動の計画策定や展開の視点から整理した結果(部分)を示す。図中の矢印は問題点、工夫内容、改善方向に向かうが、逆に辿ると、活動展開や計画策定の手法と見ることができる。

参考文献・資料

- 1) 農地・水・環境保全向上対策：http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/03/index.html (2009, 3, 12 参照)
- 2) 森口千洋：農地・水・環境保全向上対策の取組活動における問題点と改善方向、愛媛大学農学部地域環境工学コース卒業論文、26P (2009. 3)

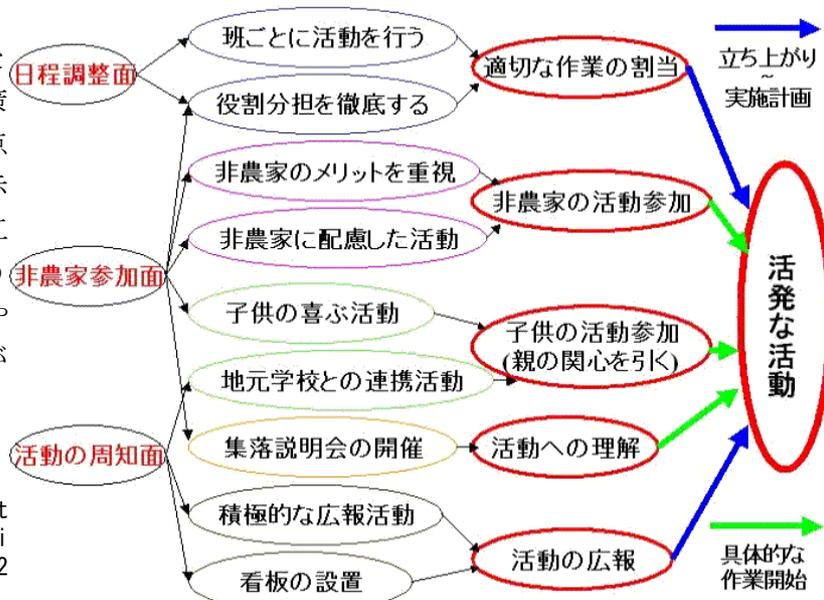


図-2 問題点と工夫内容の整理 (部分)